

## 独自燃料調整費で安価な電力供給・電力が主力の事業に リミックスポイント 小田玄紀代表取締役社長

リミックスポイントでは現在、電力小売事業に注力している。同社の小田玄紀代表取締役社長は、5、6年後に事業全体で500～600億程度の売上を目指すとともに、「電力小売事業が6～7割程度を占める」とも想定している。今後も電力小売事業の積極展開に意欲を示す小田氏に、自社の電力小売事業の強みなどを含めてお話を伺った。

### 一 貴社の事業の沿革などは

小田 リミックスポイントは、業務用アプリケーション・ソフトウェアの開発を目的に、2004年に設立された。現在の事業セグメントは、電力小売などの「エネルギー」、中古車などの「自動車」、仮想通過取引などの「金融」、ホテルなど民泊施設の企画などの「旅行関連」の4つの分野で構成される。

リミックスポイントの事業のスタンスは、規制緩和の期待できる部分へ次々と参入し、積極的に投資を行っていくこと。今後有望と見ている分野の1つが教育関連で、弊社ではイスラエルに本拠地を置き、ファンド運用のほか教育支援を手掛けるヨズマグループ(Yozma Group)との業務提携に合意している。

### 一 電力小売事業開始までの経緯を

小田 私が入社したのは6年ほど前のこと。電力小売事業開始までの沿革として、私が入社した当時、弊社では有力な収益源となる事業を新たに模索していた。その中でエネルギー分野に着目し、省エネ分野のコンサル事業などを手掛けてきた中で、2016年より電力小売全面自由化が新たにスタートすることも知った。当初はほかの新電力とも提携・協力しながら、電力の調達方法や需要家の開拓方法など、電力の小売に必要な各種ノウハウを蓄積していった。グループとして小売電気事業をスタートしてから毎月1万kW程度のペースで需要家・契約電力量を増加できており、2017年10月末時点で累計約13万kWの契約を獲得している。



小田玄紀氏

### 一 貴社の電力小売事業の進め方は

小田 基本的には高圧需要家をターゲットに特化し電力供給契約の提案を進めており、月間電気料金が100万円弱程度の規模の企業を、大半の供給対象としている。自社の電源となる発電設備を持たず、常時適正価格で機動的に、卸電力取引市場より電力を調達するようにしている。3年ほど前に比べて、現在は電気の調達価格が安くなってきている。

一方で、非居住分野の低圧需要家にも提案を始めている。とくに、従来ターゲットとしてきた高圧需要家となる企業が、低圧需要の事業所・事務所を構えるケースにおいて、あわせて提案を行っている。2017年10月1日より沖縄電力、離島を除く旧一般電気事業者の管内で低圧の電力

供給サービスを展開開始しており、2018年9月30日までに1万2,000kWの低圧需要家の契約獲得を目指す。この目標も達成可能ととらえており、代理店の開拓などにより引き続き販売拡大していきたい。

#### 一貴社の電力事業の特色は

**小田** リミックスポイントでは独自の方式で燃料調整費を算出している。従来は旧一般電気事業者ごとに設定した燃料調整費の算出方法が存在し、新電力でもそれらに準ずる形で算出している。だがリミックスポイントでは、新たに市場価格に連動した形での、独自の燃料調整費の算出方式を導入しており、結果的に、より安価に需要家へ電力を供給することを実現できている。ただ、独自の燃料調整費の算出方式を取り入れることは、非常にチャレンジングな取り組みでもある。

#### 一電力事業は今後どのように伸ばしていきたいか

**小田** 国内の人口減で電力需要の減少が見込まれる一方で、新たな太陽光発電所や風力発電所の稼働、また原子力発電所の再稼働で供給は増加し、電力調達価格は今後さらに安くなってくると考えている。電力小売市場・マーケットは、高圧だけでも6兆円程度の規模があると見込まれ、例えばその1%、600億円程度を獲得できるだけでも、魅力的な市場・事業の1つと言える。さらに、ゼロから電力事

#### リミックスポイントの概要

会社名	株式会社リミックスポイント (Remixpoint, inc.)
設立年月	2004年3月
住所	〒106-6236 東京都港区六本木三丁目2番1号 住友不動産六本木グランドタワー36階)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー管理システムの開発及び販売</li> <li>・省エネ支援コンサル、省エネ関連設備販売</li> <li>・電力の売買</li> <li>・中古車査定システムの開発及び販売</li> <li>・中古車の売買に関するコンサルティング</li> <li>・中古車の売買</li> </ul>
子会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社ビットポイントジャパン (ビットコイン等の仮想通貨の取引交換所の運営等)</li> <li>・株式会社ジャービス (ホテル等宿泊施設の企画・開発・設計及び運営並びにその支援等)</li> </ul>
連結売上高	55億6,100万円 (2017年3月期実績)

業を立ち上げる方々に対して、部分的な業務支援を行うことなども考えられるのではないかと。我々もゼロから電力事業をスタートする際は、苦労も経験してきた自負がある。

リミックスポイントの2018年3月期における事業全体の売上高は113億円を見込むが、このうち65億円を電気事業が占める計画だ。来期、またその次の決算期などで売上規模が300億円程度に拡大した際には、200億円程度を電力小売事業が占めるともイメージしている。そして5、6年後には500～600億円の売上と、60～80億円程度の営業利益を確保していきたい。この中でも、電力小売事業の割合は6～7割程度を占めるのではないかと。